

2026年5月15日

各 位

会 社 名 株式会社イクヨ  
 代表者名 代表取締役社長 孫 峰  
 (コード：7273 東証スタンダード)  
 問合せ先 取締役管理グループ長 飯野 英明  
 (TEL：03-5843-0808)

## 2026年3月期通期連結業績予想と実績値との差異 及び個別業績と前期実績値との差異に関するお知らせ

2025年8月14日に公表いたしました、2026年3月期通期連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、2026年3月期の個別業績につきまして、前期実績値との差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2026年3月期 通期連結業績予想と実績との差異

##### (1) 2026年3月期通期連結業績予想と実績値との差異 (2025年4月1日～2026年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	30,201	955	793	3,256	148.38
今回発表実績 (B)	30,144	540	167	2,756	125.63
差額 (B - A)	△57	△414	△626	△499	
差額率 (%)	△0.2%	△43.5%	△78.9%	△15.3%	
【参考】前期実績 (2025年3月期通期)	17,736	39	33	44	2.89

##### (2) 差異の理由

当連結会計年度の業績につきましては、主力である自動車部品事業において原材料・副資材および電力価格の高騰による製造コストの増加分を販売価格へ十分に転嫁できず収益が圧迫されたことに加え、ホールディングス化に伴う組織再編費用や、将来の成長基盤構築に向けた人材採用、働き方改革への先行投資として人件費が増加しました。

また、2025年4月に株式の取得により子会社化しました Kunshan Veritas Automotive Systems Co., Ltd. の会計処理において、のれんの金額を暫定的に算定し償却を行っておりましたが、取得原価の配分評価を完了した結果、のれん以外の無形固定資産（顧客関連資産、特許権など）が高く評価されました。この結果、のれんは目減りしたもののそれ以上に無形固定資産が増加し、また、のれんと無形固定資産で償却期間の差が発生したため、償却費を想定よりも大きく計上することとなりました。

さらに、新規事業であるビットコインマイニングにおいては、暗号資産価格が期末評価時点で落ち込んだことにより、全体として収益が計画を下回りました。なお、2026年3月期の決算短信において暗号資産運用損147,045千円を計上しておりますが、暗号資産運用損については毎月の運用費用（電気代等）と期末の評価損を含んでおります。

これらの結果、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は前回公表の予想を下回る結果となりました。

## 2. 個別業績と前期実績値との差異

(1) 2026年3月期個別業績と前期実績値との差異 (2025年4月1日～2026年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前期実績 (A)	15,402	171	134	143
当期実績 (B)	16,016	△363	△632	2,541
差額 (B - A)	613	△534	△767	2,398
差額率 (%)	4.0%	—	—	—

### (2) 差異の理由

営業利益および経常利益につきましては、上記「(2) 差異の理由」に記載の通り、前期実績値との差異が生じました。また、当期純利益につきましては、厚木工場の土地譲渡に伴う固定資産売却益および株式取得に関わる違約金収入を特別利益として計上したことにより、前期実績値との間に差異が生じました。

以 上